

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
22205	病理学 Pathology	久永 直見	専門基礎	2	必修	2 年 後期
科目の概要						
栄養士にとって重要な疾病に重点を置いて、それらの疾病がどのように発生して、悪化してゆくのか、どのように栄養を摂れば、疾病の発生を予防したり、悪化を防いだりすることができるかを講義する。						
学修内容			到達目標			
① さまざまな疾病の原因や症状を理解する。 ② どのように栄養を摂れば、疾病の発生予防と悪化の防止に役立つかを理解する。			① さまざまな疾病の原因や症状を説明できる。 ② どのように栄養を摂れば、疾病の発生予防と悪化の防止に役立つかを説明できる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	授業に能動的に参加し、教員の質問に積極的に答える。				
	働きかけ力					
	実行力	毎回実施する小テストのための復習を行う。				
考え抜く力	課題発見力	授業を通して栄養に関する課題を見つけ出す。				
	計画力	小テストのための学習時間を、計画的に確保する。				
	創造力	教員の出すヒントをもとに自分の考えを創り出す。				
チームで働く力	発信力	教員からの質問に、ほかの学生にも理解できるように的確に答える。				
	傾聴力	講義内容を丁寧に聞き取り理解するよう努める。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業には遅刻しない、私語を慎む。				
	ストレスコントロール力	小テストのストレスに、計画的学習でコーピングを行う。				
テキスト及び参考文献						
1. 教科書「テキスト健康科学」改訂第2版 佐藤祐造ほか編(南江堂) 2808 円(税込み) 2. 毎回の講義にて教材資料を配布する。						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:生理学、解剖学、解剖生理学実験などが関連する。 資格との関連:栄養士						
学修上の助言			受講生とのルール			
栄養士という職業の専門性に関わる科目である。専門用語が多く難しいと感じることが多いだろうが、自分や家族の健康状態や、病気の経験を振り返りながら、積極的に知識を積み上げて欲しい。			毎回の授業後、復習し、小テストにて、達成度を確認する。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	70	①	✓	・授業で学習した内容の理解度を、穴埋め問題と論述式問題とを併用して評価する。 ・筆記試験と小テストの結果を合わせて、次の到達レベルをもって評価の基準とする。 の成因、症状、診断、治療方法に関する質問の 90%以上に正しく解答できる。・・・S 同じく 80～89%に正しく解答できる。・・・A 同じく 70～79%に正しく解答できる。・・・B 同じく 60～69%に正しく解答できる。・・・C C のレベルに達していない。・・・F
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
小テスト	30	①	✓	・授業内容の要点の理解・記憶を、毎回の授業の冒頭に小テスト(穴埋め問題 10 問)を実施して評価する。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)				
作品				
社会人基礎力 (学修態度)		①	✓	(主体性) ・将来、栄養士になって社会に貢献するために、積極的に学ぶことができる。 (実行力) 計画的に学習し、知識を蓄積できる。 (課題発見力) 授業を通して疾病の予防における栄養学的課題を発見できる。 (創造力) 授業を通して疾病の予防に関する自分の考えを創り出せる。 (傾聴力) 授業に集中し、内容を理解し、要点を記録できる。 (発信力) 教員からの質問に対し、的確に、他の受講者にも分かるように解答できる。 (規律性) 教室でのマナーを守り、質の高い学びの場にできる。 (ストレスコントロール力) 毎回の授業冒頭の小テストのストレスに対し、計画的学習によりコーピングできる。
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
授業で取り上げた疾病の 80～89%について原因、症状、栄養との関係を説明できる。	授業で取り上げた疾病の 70～79%について原因、症状、栄養との関係を説明できる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	日本の疾病罹患状況と予防対策の概況	講義	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 傾聴力 ストレスコントロール力
2週 /	栄養と疾病との関わり	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
3週 /	疾病で起きる細胞と組織の変化Ⅰ (炎症、免疫)	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
4週 /	疾病で起きる細胞と組織の変化Ⅱ (変性、腫瘍)	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
5週 /	ビタミンの欠乏症と過剰症	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 ストレスコントロール力
6週 /	ミネラルの欠乏症と過剰症	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 傾聴力 ストレスコントロール力
7週 /	糖尿病	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
8週 /	脂質異常症	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	高尿酸血症	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 傾聴力 ストレスコントロール力
10 週 /	先天性代謝異常	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
11週 /	高血圧・心疾患	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 発信力 傾聴力 ストレスコントロール力
12 週 /	消化器疾患 (胃十二指腸潰瘍、過敏性腸症候群、潰瘍性大腸炎)	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性 ストレスコントロール力
13 週 /	肝臓・膵臓・胆嚢の疾患 (肝炎、膵炎、胆石症)	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性 ストレスコントロール力
14 週 /	感染症 (細菌、真菌、ウィルス)	講義と小テスト	小テストで正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性 ストレスコントロール力
15 週 /	脳血管疾患・認知症 (脳出血、脳梗塞、アルツハイマー病など)	講義と小テスト	定期試験の該当部分の問題に正答率 60%以上	復習し、疑問点は調べる。	90	主体性 実行力 創造力 規律性 ストレスコントロール力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力